

令和4年度 学習指導計画

教科	公民	科目	公共	単位数	2 単位
学科・類型		普通科Ⅱ類・Ⅰ類		学年	第1 学年
使用教科書		教育図書『高等学校 公共』			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につけるとともに、課題にたいする関心と当事者としての意識を高め、解決のために他者と共同しながら共に思考し、行動しようとする態度を養う。 さまざまな社会問題を身近な話題に引き付けて考えるテーマ学習を豊富に設定し、主体的、対話的な授業を通して生徒が社会参画者であることの自覚を深めることを目指す。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学期	第一章 地球温暖化問題 男女差別 (ジェンダー平等) 民主政治の歴史 日本国憲法の三つの原理 基本的人権の尊重	地球温暖化により、どのような問題が起こっているか、またこれを解決するために行われている国際的な取り組みなどについての知識を習得する。 大学入試における女性差別事件に注目し、なぜそのようなことが起こったのか、考えさせる。 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の憲法の原理についての知識を習得する。
2 学期	第2章 現代社会の諸課題 【法】 多様な契約 なぜ疑わしいときは被告人の利益とすべきか？ 【政治】 地方自治 安全保障と防衛	社会生活を営むうえで、私たちはさまざまな契約を結んでいることを理解させる。 18 歳に達し裁判員に選ばれたとき、どのような考え方で裁判に臨むべきかについて学ぶ。無罪推定の原則がなぜ裁判で必要なのか、冤罪の危険を認識し、合理的な判断ができるよう刑事裁判における基礎となる原則を理解させる。 地方自治は私たちの生活に密接に関係しており、さまざまな直接民主制の仕組みが採用されていることを理解させる。そのうえで財政問題、地方分権の課題などを学習していく。 憲法9条の解釈と日本の安全保障政策の変遷を学ぶ。
3 学期	第2章 現代社会の諸課題 【経済】 都会で働くか、地方で働くか？ AI の進化は仕事をどう変えるか？ 格差是正のために課税すべきか？ 少子化と社会保障	地方から都会への人口流出が継続している理由を分析し、「働く」という観点から地方と都会の双方のメリット、デメリットを理解させ職業選択についての関心を深めさせる。 AI の仕組みと機能、実用性について学び、AI の限界についても知ることで、人間とAI の共存や人間の仕事の变化についての知見を得る。 格差是正のための課税強化が市場経済にどのようなプラスの効果とマイナスの効果をもたらすのかについて考えていく。 社会保障は国民の生存権を保障するために国が運営している制度であり、社会全体でリスクの分散と軽減を測るために重要な機能を果たしていることを学習する。少子高齢化により、制度の維持が困難になっている点を理解させる。

令和4年度 学習指導計画

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位
学科・類型		普通科Ⅱ類・Ⅰ類		学年	第1学年
使用教科書		実教出版『歴史総合』			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	①近代前期～現代までの歴史を学び、様々な課題を抱える現代を生き抜くために必要な知識と広い視野を獲得する。 ②近代前期～現代の歴史の学習で獲得する様々な知識を整理し、歴史全体を俯瞰する視野を獲得する。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	- 産業革命と資本主義社会の成立 - アメリカ独立戦争とアメリカの発展 19世紀後半のアメリカ - フランス革命とナポレオン戦争 - ウィーン体制の成立と崩壊 - 幕府の滅亡と新政府の樹立 - 近代国家の成立と国民の誕生 - 文明開化 - 日清戦争 - 日露戦争	- 各単元で学習した内容と「近代世界システム論」の考え方を結びつけ、19世紀後半～20世紀初頭の世界を俯瞰する視点を養う。 「帝国主義」という政治思想およびそれに基づいた政策が行われるようになった要因を考察する。 - 世界と日本の繋がりを重視して、どのように世界と日本が近づいたか考察する。 - 江戸時代の暮らしや日本人の伝統など文化を学ぶ - 日清・日露戦争を経る中でアジアにおける日本の立場がどの用意変化していったのか理解させる
2 学 期	- 第一次世界大戦 - ロシア革命と大戦の終結 - ヴェルサイユ体制とワシントン体制 - 大戦後のヨーロッパ - 大戦後の「周辺」地域 - 大戦後の東アジア - 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 - 大戦景気と米騒動	「帝国主義」がもたらした急激な社会変化について包括的に学ばせる。 - 東アジアにおける国際関係の転換に着目させる。 - 新たに台頭した「日本」と「ロシア」の勢力争いと中国および朝鮮の動きを関連付け、東アジア情勢を包括的に捉えさせる。 - 第一次世界大戦後の世界平和に向けた取り組みとその課題について理解させる。 - 第一次世界大戦の影響と戦後の「周辺」地域および東アジアの動きを理解させる。 - 第一次世界大戦前後から、「周辺」地域に、近代以降に成立した「中核」と「周辺」という関係から脱却しようとする動きが起こっていることを理解させる。 - 第一次世界大戦とその前後の国際社会の動向に留意して、我が国の対外政策や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。
3 学 期	- 第二次世界大戦の発生と終結 - 世界恐慌 - ファシズムの台頭 - 日本の軍国主義と中国 - 第二次世界大戦の終結 - 第二次世界大戦後の国際関係 - 戦後体制の成立と冷戦の開始 - 戦後の東アジアの情勢 - 戦後の東南・西・南アジアの情勢 - 戦後のアフリカの情勢 - 冷戦の終結とソ連の崩壊	- 世界の経済を大不況に陥れ、後の第二次世界大戦の引き金となった「世界恐慌」の原因と、その背景について理解する。 - ドイツ、日本、イタリアがファシズム国家となり、侵略を繰り返すようになった背景について考察する。 - 戦時中の国民生活について理解する。 - 第二次世界大戦後の世界再編に向けた動きと、アジア諸国の独立、発展の歩みについて理解する。 - 第二次世界大戦後の西アジア、アフリカ諸国の混乱について学び、その原因について理解する。 - 支配される側であった、アジア、南アメリカ、アフリカ諸国が冷戦時代の世界において果たした役割について理解する。 「冷戦」が長引く中で始まった、アメリカとソ連の歩み寄り、再び起こった対立の経緯について学び、両国の思惑について考察する。 - 中国、ベトナムの政治的混乱とその後の社会について理解する。

